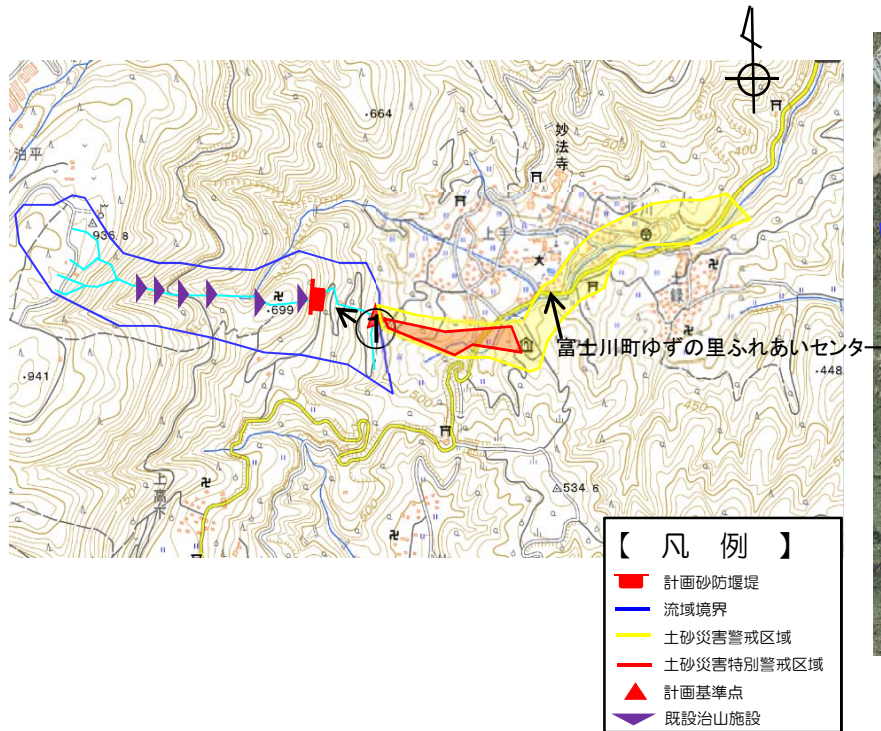


1. 事業説明シート

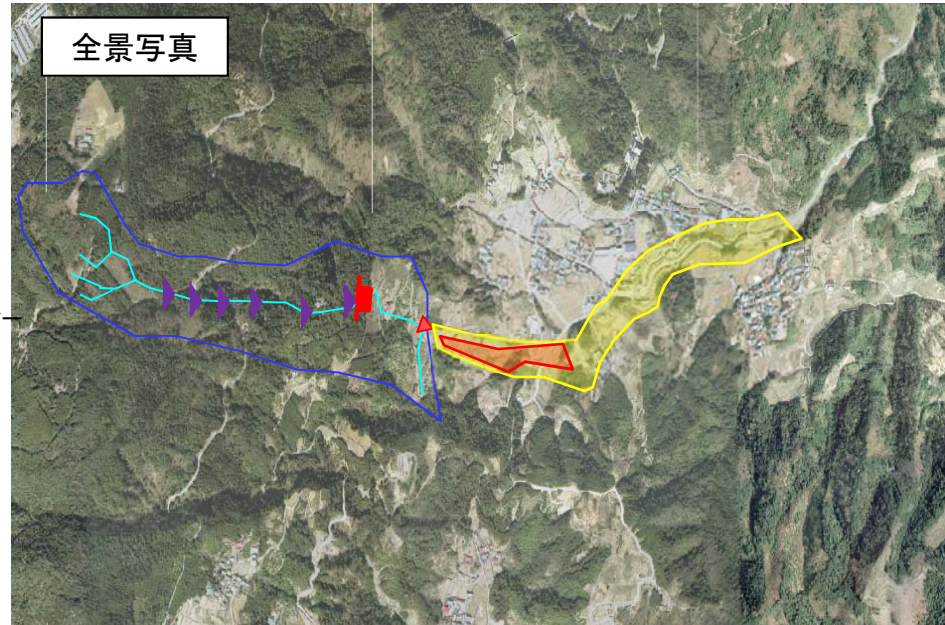
事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	南巨摩郡富士川町小室	地区名	小田沢 (コタサワ)	事業主体	山 梨 県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
①課題・背景				①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
本溪流は流域面積0.07km ² の土石流危険渓流である。流域内は崩壊や溪岸浸食が進行し、溪床には不安定土砂、転石が堆積しているとともに、溪岸沿いには立木が密集している。上流域には山腹崩壊が多く存在し、土砂流出、流木による土石流発生の危険が高まっている。保全対象は、人家11戸のほか県道、町道、富士川町ゆずの里ふれあいセンター (避難所) 等の公共施設も存在し、土石流が発生すると甚大な災害を引き起こすことが予測されるため、土石流を抑止する砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。				砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当																																									
②整備目標・効果				②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
□主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 3% < 70%※ ・重要公共施設の有無 有 (県道、避難所) (保全対象=人家11戸、県道 100m、避難所等)				砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当																																									
□副次目標 ー				③経済妥当性 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
□副次効果 ー				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>400 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R12</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>317 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">505 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>317 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">131 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">53 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">56 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>その他※</td> <td colspan="2">265 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">1.6</td> </tr> </table>				総事業費	400 百万円	工期	R4~R12	基準年	R3	経済効率性	費用	317 百万円	便益	505 百万円		建設費	317 百万円	一般資産被害抑止	131 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	53 百万円			百万円	公共土木施設等被害	56 百万円			百万円	その他※	265 百万円		B/C			1.6		
総事業費	400 百万円	工期	R4~R12	基準年	R3																																								
経済効率性	費用	317 百万円	便益	505 百万円																																									
	建設費	317 百万円	一般資産被害抑止	131 百万円																																									
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	53 百万円																																									
		百万円	公共土木施設等被害	56 百万円																																									
	百万円	その他※	265 百万円																																										
B/C			1.6																																										
※評価基準値				※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている																																									
(2) 整備内容				④事業実施・規模の妥当性																																									
①整備内容				④事業実施・規模の妥当性 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
砂防堰堤 1基 H=6.0m L=22.0m				流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である																																									
②着手年度 令和4年度				③完成見込年度 令和12年度																																									
④総事業費 約400百万円 (国費200百万円(5/10)県費200百万円(5/10))				⑤整備手法の有効性																																									
⑥年度別の整備内容 (事業費)				⑤整備手法の有効性 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
令和4年度	詳細設計・用地測量	20 百万円	⑥環境負荷等への配慮 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																										
令和5年度	用地取得・立木補償	20 百万円	⑦事業計画の熟度 妥当 妥当でない <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																										
令和6年度	砂防堰堤工事	50 百万円	⑧総合評価 [貢献度ランク: a]																																										
令和7年度	砂防堰堤工事	50 百万円	⑨(4) 事業位置図等																																										
令和8年度	砂防堰堤工事	50 百万円	位置図																																										
令和9年度	砂防堰堤工事	50 百万円																																											
令和10年度	砂防堰堤工事	50 百万円	※記載内容は見込みであり、確定したものではない。																																										
令和11年度	砂防堰堤工事	50 百万円	⑩既整備内容・期間・事業費																																										
令和12年度	砂防堰堤工事	60 百万円	治山堰堤 6基																																										

2. 添付資料シート

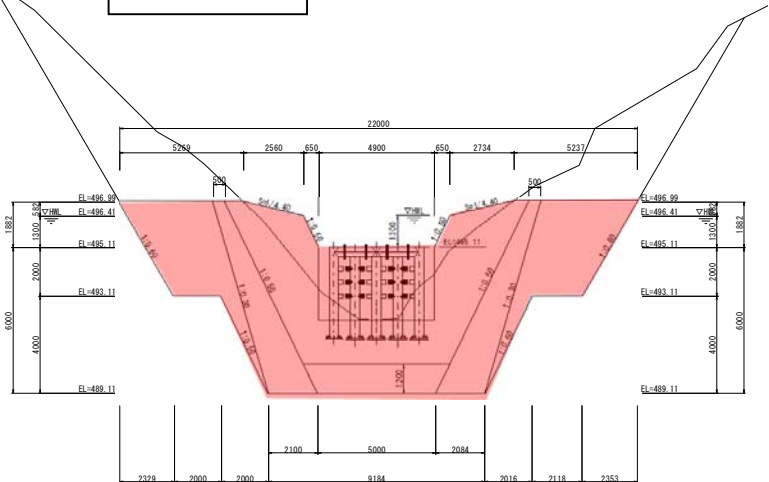
流域図



全景写真



堰堤正面図



保全対象



富士川町ゆずの里ふれあいセンター(避難所)

荒廃状況

